

一般財団法人南アルプスみらい財団 令和4年度事業報告

財団では、南アルプスを訪れる人々を増やしながら自然環境の保全活動の拡充を図り、利活用と保全の好循環を生み出すことで、南アルプスの貴重な自然環境をより良い形で未来に引き継ぐことを目的として、事業計画に基づき、定款第4条に掲げる保全・活用促進事業と法人管理事業を行い、静岡県から業務1件を受託した。

【事業の構成】

- 1 保全・活用促進事業
- 2 法人管理事業
- 3 受託事業

1 保全・活用促進事業

(1) 現場巡視及び調査事業

ア 巡視時の重点確認事項

- (ア) 植生状況等の確認
樹林帯、森林限界、お花畠等における状況確認と写真撮影
- (イ) シカ被害等の状況確認
シカによる食痕等の確認、シカ個体の目視確認又は糞の確認、山小屋管理人からの聞き取り
- (ウ) 登山道等の状況確認
崩落個所等の確認と管理者への報告

イ 巡視の実施

年 月 日	調査ルート	内容
令和4年7月25日 ～7月28日	椹島-千枚小屋-千枚岳-荒川岳-中岳避難小屋-荒川のお花畠-荒川小屋-大聖寺平-小赤石岳-赤石岳-赤石避難小屋-赤石のお花畠-赤石小屋-椹島	植生及び登山道の状況等確認及び写真撮影
令和4年8月17日 ～8月20日	鳥倉(長野県大鹿村)-三伏峠-烏帽子岳-小河内岳-小河内避難小屋-板屋岳-高山裏避難小屋 ※復路は鳥倉に向かって同一経路を巡視	雪圧による防鹿柵支柱の屈折を確認
令和4年8月21日 ～8月22日	椹島-千枚小屋-千枚岳 ※復路は椹島に向かって同一経路を巡視	植生調査により希少種とされる植物を確認
令和4年9月14日 ～9月16日	北沢峠(長野県伊那市)-両俣小屋-三峰岳-間ノ岳-熊の平小屋 ※復路は北沢峠に向かって同一経路を巡視	現地周辺の鹿柵の状況等を確認
令和4年9月30日 ～10月2日	鳥倉(長野県大鹿村)-三伏峠-烏帽子岳-小河内岳-小河内避難小屋-板屋岳-高山裏避難小屋-荒川小屋 ※復路は鳥倉に向かって同一経路を巡視	静岡県が管理する季節型防鹿柵(荒川小屋・三伏峠)の撤収作業
令和4年10月1日 ～10月2日	易老渡(長野県飯田市)-聖光小屋-西沢渡-苔平-薊畠-聖平小屋 ※復路は易老渡に向かって同一経路を巡視	ボランティアと防鹿柵の設置及び破損個所の点検、修理を実施
令和4年10月14日	鳥倉(長野県大鹿村)-三伏峠-本谷山-烏帽子岳-鳥倉	防鹿柵の設置位置、数量、雪圧等による損傷等の現況を確認
令和4年10月20日 ～10月21日	沼平ゲート-茶臼小屋-上河内岳-茶臼小屋-茶臼岳-仁田岳-茶臼小屋-沼平ゲート	静岡県の管理する季節型防鹿柵(茶臼小屋)の撤収作業
令和4年10月25日 ～10月27日	芝沢ゲート(長野県飯田市)-聖光小屋-易老渡-易老岳-イザルガ岳-光岳小屋-光岳・	山小屋管理の状況、来訪者の特徴、し尿処理の課題、周辺

	光岩 ※復路は芝沢ゲートに向かって同一経路を巡視	の鹿の食害等について聞き取り
令和4年10月28日	檜島-千枚岳-燕沢-檜島	冬季に備え、千枚岳に設置された防鹿柵の撤去作業、種子保存プロジェクト対象種の生育状況確認と種子採取
令和5年2月17日	西日影沢-蓬峠-山伏 ※復路は西日影沢に向かって同一経路を巡視	山伏岳頂上付近から、積雪期の南アルプスをドローンにより撮影

(2) 自然環境保全事業

ア 防鹿柵の設置

防鹿柵の現況把握に努めたほか、作業に参加した。

イ 高山植物種子採取への協力

高山植物の現況把握に努めたほか、作業に参加した。

ウ 南アルプス学会への出席

南アルプスに関する研究費助成制度案の検討に参加した。

エ 先進事例の視察

北杜市と THE NORTH FACE の包括連携協定に基づく連携事業である「Trail Maintenance in HOKUTO 2022」に参加し、多自然型工法による登山道整備プログラムについて、実体験を通じて取組を視察した。

(3) 利活用促進事業

ア 登山者へのアンケート調査の実施

株式会社特種東海フォレストや十山株式会社の協力を得て、檜島ロッヂにおいて登山者向けアンケートを実施した。

項目	内 容
実施期間	令和4年8月26日から10月18日まで
回答者数	39人

イ 山小屋管理人等への聞き取り

静岡県内の有人の山小屋12施設のうち、9施設について現地において、自然環境の状況、シカ被害状況、登山道、トイレなど施設関連の状況等聞き取りを実施した。

ウ 災害等の被災状況の確認

台風14号（令和4年9月19日～20日）及び15号（同23日～24日）による南アルプス周辺地域の被災状況等を把握するため県、町役場、関係者等から情報収集を行った。

エ 南アルプス交通アクセス改善検討会議への出席

南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会によって設置された当該会議に構成員として参画した。

オ 地域の学校との連携

井川小中学校と連携し、令和5年3月8日に開催した「ふるさと井川」校内発表会において、南アルプスを未来につなぐ会及び南アルプス学会所属の学識経験者のオンライン聴講と生徒の発表に対するコメントの機会を調整し、当該取組の記事が新聞に掲載された。

カ 山岳関連団体との意見交換

山岳ガイド協会本部、静岡県支部、南アルプス高山植物保護ボランティアネットワーク及び一般社団法人北杜山守隊と今後の連携について協議した。

(4) 普及・啓発事業

現地活動状況のPRのため、財団公式ホームページを制作したほか、SNS（インスタグラム、フェイスブック）の公式アカウントを開設し、情報を発信した。

2 法人管理事業

(1) 会議運営事業

財団の法人活動の方針を決定するため、理事会及び評議員会を開催した他、財団の設立目的等を関係者で共有するため、令和4年8月11日に発足式を開催した。

開催日	会議	会場
令和4年7月22日	第1回理事会	書面
令和4年8月1日	第1回評議員会	書面
令和4年8月1日	第2回理事会	書面
令和4年8月11日	第3回理事会・発足式	ホテルアソシア
令和5年3月20日	第4回理事会	JR静岡駅ビル パルシェ

(2) 総務関連事務事業

ア 法務関係事務

令和4年7月19日に登記手続を行ったほか、法務局、労働基準監督署、税務署、県財務事務所、市法人課税課、年金事務所等に各種届出を行った。また、財団の業務状況等を踏まえて規程等を整備した。

イ 会計関係事務

静岡銀行及び静清信用金庫に口座を開設し、財団財務規程に基づき、事務局長を会計責任者として会計処理を行った。

また、県の南アルプスモデル推進事業費補助金の交付決定を受けた。

併せて、一般の方（1人）から寄附（10,000,000円）のお申し出を受けて、寄附金取扱規程を策定し、理事長から感謝状の贈呈を行った。

ウ 職員採用選考事務

令和5年4月1日付採用のため、職員選考委員会を設置し、企画総務課長とレンジャーの採用試験を実施し、各1人の採用を決定した。

エ 職員の安全対策及び技術向上関係事務

職員が山岳地域において安全に活動できる技術を身に着けるため、有識者からの技術面での助言等を受けることができる体制を整えたほか、講習会等への参加を調整した。

(3) 事務所整備事業

現地活動拠点として、令和4年8月11日付で静岡市より南アルプス自然ふれあいセンター（静岡市葵区田代1301番1）の一部を借り受けた。また、事務所を令和5年4月1日付でふじのくに地球環境史ミュージアム（静岡市駿河区大谷5762）に移転することを決定した。

(4) 備品・物品管理事業

財団の現地活動用に車両1台をリースしたほか、職員が現地活動を安全に実施できるように被服等貸与規程を策定した。

(5) 広報事業

財団を紹介するパンフレットを制作したほか、新聞記者の現地取材の支援等を通じて、活動状況を情報発信した。また、行政、関係団体等との意見交換を通じて財団の認知度向上に努めた。

3 受託事業

静岡県から「令和4年度 南アルプスモデル推進業務」を受託し、自然環境保全、環境教育、普及啓発の各業務を実施した。

契約金額：4,389,000円

契約期間：令和4年11月11日から令和5年3月10日まで